

今週の活動から



3月6日（日）
南毛利公民館
南毛利地区の
議会議員を
代表して栗

山議員が挨拶。公民館が地域の住民を守る拠点になっていることを話しました。（上：釘丸久子議員）
その後厚木公園での「さよなら原発パレード」に参加。菜の花の時期にあわせて参加者は黄色い花やスカarfをつけてパレードしました。民主党の議員と公明党の新人議員も参加しました。南相馬市から愛川町に避難している原発被害訴訟団の方が、裁判の支援と原発事故の風化をさせないことを訴えました。（下：栗山香代子議員）



（下：栗山香代子議員）

3月の法律相談

3月22日（火）13時～

前日迄の連絡を！

「精神障害者に交通運賃割引」は採択 「マクロ経済スライド廃止」の陳情は不採択に

市民福祉常任委
3月7日（月）

厚木市議会2月定例会議に出された陳情のうち2件が市民福祉常任委員会でも審議されました。

市民福祉常任委員会

寺岡まゆみ（公明党・委員長）
釘丸久子（日本共産党）
井上武（改革あつぎ）
山本智子（無党派・ネット）
高橋豊（あつぎみらい）
渡辺貞雄（あつぎみらい）
高橋知己（新政あつぎ）
A B C D E

精神障害者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書を国に提出することを求める陳情

D：身体・知的障害には割引がある。精神障害は外観ではわからない。陳情に賛成。

B：趣旨には賛成。精神障害の人が作業所に通うにもバス代がかかる。負担が大変で出かせなければひきこもりになることも。

釘丸議員：平成18年に障害者自立支援法ができたとき3障害を同じにするべきだったのにしなかった。障害者権利条約の批准もあった。3年前に国会で日本共産党の高橋千鶴議員がこの問題を取り上げた。厚労相は「精神障害者の方が社会の中で頑張っている現実がある。運賃割引の意味は大きい」と答えているのに、いまだ実現していない。

E：精神障害を除外する理由はない。昔は、療育手帳に写真がなかった。今はあり、本人確認ができる。

採決の結果は 全員賛成で採択

年金削減を取りやめ、マ

クロ経済スライドの廃止をを求める意見書を国に提出することを求める陳情

釘丸議員：先日国会で日本共産党の小池晃議員が質問した。

マクロ経済スライドは、賃金・物価が下がるとその率で引き上げられるが、賃金・物価が

上がっても年金はその割合では上がらない。厚労省は100年後に安心といったが、国民はたまったものではない。高い保険料を支払ってきたのに年金が目減りをする。以前は物価スライドだった。

D：年金財政は非常に厳しい。私ももはや政権与党の応援団なので、それに反することは難しい。

B：自分が年金をもらうことを考えると、先細りはいやだ。給付と負担のバランスが崩れている現状がある。しかし、ここ

だけではなく、もっと幅広く考えていかなければならない。賛成いたしません。

E：高齢者でなく現役世代としての立場で話す。出す側と受ける側のバランスの絡み。マクロ廃止だけでなく、少子化を止める論議がなされたうえで、マクロスライド不要だよね、とさせるべき。マクロだけ止めようというのは反対。

釘丸議員：年金財政がなぜ厳しく

市民福祉常任委員会の陳情

陳情名（提出者）	賛成・反対	結果
陳情第1号 精神障害者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書を国に提出することを求める陳情（個人）	賛成 全員	採択
陳情第2号 年金削減を取りやめ、マクロ経済スライドの廃止を求める意見書を国に提出することを求める陳情（全日本年金者組合神奈川本部厚木支部）	賛成（釘丸久子） 反対（井上武・山本智子・高橋豊・渡辺貞雄・高橋知己）	不採択

※ 3月18日の本会議で最終的に決まります。

採決の結果は
釘丸議員のみ賛成で不採択

なったのか。政府が運用で損したり、湯水のようにお金を使った責任を誰もとっていない。苦しくなったから年金を引き下げたのでは踏んだり蹴ったりだ。この状況を見たらモラルハザードに陥り、保険料を支払わなくなり、悪循環に陥る。年金引き下げのマクロ経済スライドの廃止を求めたい。